

誰もが利用できる優しい施設目指す

あい♡
サポート団体

鳥取市

公益財団法人 鳥取県体育協会



▲聴覚障がい者への理解とコミュニケーションの向上を図るため職員を対象にした独自の手話講習会を開いている

<概要>

名称／公益財団法人 鳥取県体育協会

所在地／鳥取市布勢146番地の1

代表者／会長 油野利博

目的／県内スポーツの競技力向上、生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進、文化活動・地域産業の振興に資する事業を通して県民スポーツに対する意識の高揚を図るとともに、健康で文化的な県民生活の向上と地域産業の発展に寄与する

職員数／95人(事務局および県内6施設) (2013年11月1日現在)

▼車椅子はロビーに常備。タイヤを拭き、そのまま館内に入れるよう誘導する



あいサポート団体になったきっかけ

障がいのある人もない人も暮らしやすい社会を目指すあいサポート運動の趣旨に基づき、県内6施設の管理運営者として、誰もが利用しやすい、優しい施設が必要と考えた。あいサポートバッジを付けることで取り組みの認知度、職員の意識が高まり、利用者の拡大につながればうれしい。

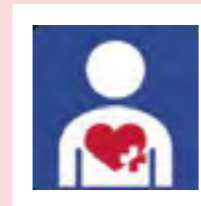
あいサポート運動の

取り組み内容



●耳マークの設置

耳の不自由な人が気軽に筆談を申し出てもらえるよう受付に表示。職員は手話研修を受講する。



●ハート・プラスマークの設置

多目的更衣室や更衣介助ルームに掲示し、内部障害者、内臓疾患など「目に見えない障がい」のある人が安心して利用できるよう配慮する。

●ユニバーサルデザインの自販機の設置

お金の投入口や商品の取り出し口、商品選択ボタンの配置などを考慮し、誰もが使いやすいよう工夫されている。

●障がい者スポーツの支援

現在「日本障害者スポーツ協会公認障害者スポーツ指導員」(初級29人、中級2人)が在籍。障がいのある人を対象としたスポーツ教室で指導に当たる。今後さらに有資格者を増やし、障がい者スポーツの充実を図る。

活動を行って

苦勞したこと、工夫したこと

困っている人を見たらすぐに声をかけるよう心がけています。体育館の入り口の段差を解消するスロープや芝生の中に道を作ってトイレに行きやすくするなど、利用者の声を受けて改善したものもあります。誰もが使いやすい施設を目指し、要望にはできる限り対応するよう努めています。

(コカ・コーラウエストスポーツパーク、小村仁志さん)

今後の展望、目標

手話言語条例の制定を受け、今まで以上に手話をはじめとした研修や講習会へ積極的に参加し、職員の資質向上に努めたい。障がい者スポーツ教室などの事業の拡大と充実を図り、ひとりでも多くの職員に有効な資格を取得させたい。

代表者のコメント

会長 油野利博



本会は、施設管理・運営を行う上で「誰もが利用しやすい、優しい施設であること」を理念としている。その中であいサポート運動の趣旨に賛同し、障がいのある人も利用しやすい施設づくりを目指してきた。今後もさらに研修や取り組みを充実させ、職員の資質を高めるとともに正しい理解を深め、障がいのある人もない人も一緒に暮らせる、あたたかい地域社会をつくることに貢献したい。

●問い合わせ・連絡先

TEL0857-28-1288
FAX0857-28-1399